

64 春を待つ

2月3日(木)、今日は節分です。(去年は2月2日でした)ご家庭によっては豆まきをしたり、恵方巻を食べたりして、厄をはらって福を招き入れるということをされるのではないのでしょうか。1年生の教室では、「自分の中の〇〇鬼」を退治するというプリントが配られ、「ゲーム鬼」「ねぼう鬼」「おこりんぼ鬼」など、様々な鬼がカラフルに塗られていました。ちなみに今年の恵方は北北西だそうです。

昔から日本では、多くの地方で人知の及ばぬ禍を「鬼(穢)」としてみなし、それを祓うという習慣がありました。平安期に「鬼払い」や「陰陽師」といわれる人々が、当時の朝廷に寵愛されていたのも、目には見えない恐れの対象から、人々を守るためだったと思っています。

現在の私たちにとって、目に見えない恐ろしいものといえば新型コロナウイルス感染症が筆頭で上げられるのではないのでしょうか。「豆」にかわる「特効薬」で一日も早くはらってほしいと願わずにはられません。

さて、節分が過ぎれば「立春」です。新しい生命が芽吹き、躍動が感じられる春はもうすぐそこまで来ています。顔をあげて、春を待つ気持ちとともに、今できることに一つ一つしっかりと取り組み、晴れやかな笑顔で春を迎え、私たちの日常を取り戻したいですね。